

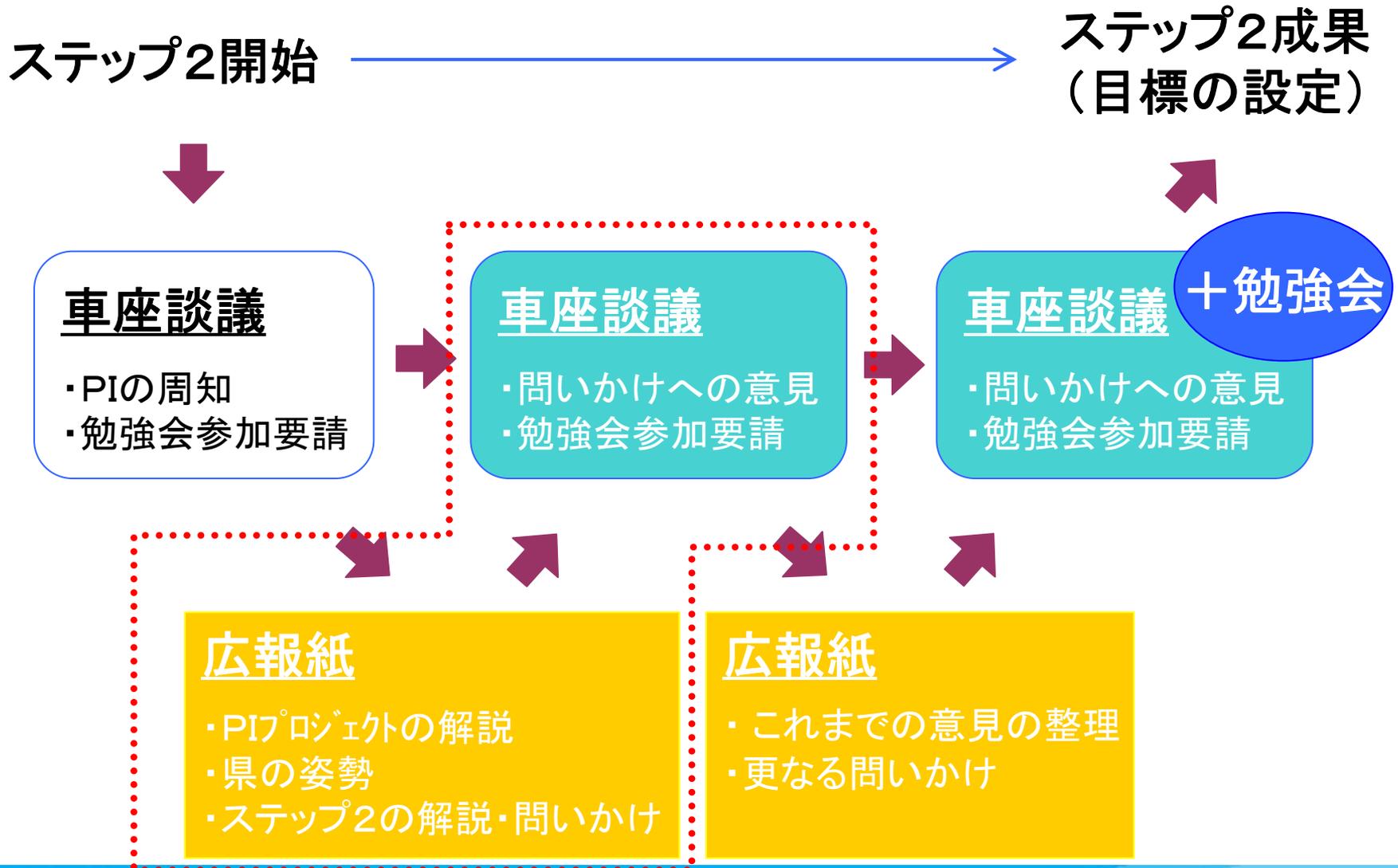
沼津高架P Iプロジェクト



ステップ2 実施状況報告

【第6回P I委員会】

ステップ2の進め方



第5回PI委員会以降の取組み

日付	取組み
8月2日	車座談議(東駿河湾まちづくり研究会)
8月10日	企業ヒアリング(通運事業者A)
8月20日	企業ヒアリング(通運事業者B)
8月21日	沼津駅周辺親子見学ツアー
8月22日	NL3号発行(沼津市内新聞折込) 車座談議((社)沼津青年会議所(NJC))
8月24日～8月26日	オープンハウス(イシバシプラザ)
9月1日～9月23日	パネル展示(パレット)
8月30日	企業ヒアリング(港湾事業者C)
9月3日	企業ヒアリング(バス事業者D)
9月6日	車座談議(チェンジ沼津)

車座談議

車座談議の実施状況

■実施回数:3回 (7/14~9/9、3団体、延べ48人)

■実施団体:鉄道高架事業に関心の高い団体、商工関係者

日時	団体名	出席者
8月2日(木) 18:00~20:00	東駿河湾まちづくり研究会	12人
8月22日(水) 18:30~19:00	(社)沼津青年会議所(NJC)	14人
9月6日(木) 19:00~21:30	チェンジ沼津	22人



車座談議の実施状況

《車座談議の主な内容》

- 事務局からの説明・情報提供
 - ・ 沼津駅周辺整備事業について
 - ・ 沼津駅付近鉄道高架事業について
 - ・ 沼津高架PIプロジェクトの取組みについて
- 意見交換・質疑応答
- 車座談議の進め方に対するアンケート

車座談議の実施状況

《車座談議の運営方法の改善》

■記録の正確性、信頼性を高めるため、参加者の同意の下で録音や録画による記録を行った。

■車座談議の冒頭、ファシリテーターの立場について、より丁寧に説明するとともに、ファシリテーターに司会進行を任せることについて、参加者全員の同意を得ていく。

※ファシリテーターはステークホルダーヒアリングでも協力をお願いしており、今回の車座談議にも中立的な立場で参加してもらい、技術的なサポートをお願いした。

勉強会はファシリテーターによる司会進行を予定しており、雰囲気を知っていただくため、今回の車座談議でも試行的に司会進行を依頼した。

車座談議／東駿河湾まちづくり研究会



日時：平成24年8月2日(木)

18:00～20:00

参加者：東駿河湾まちづくり研究会
会員 12名

説明内容

- ・沼津駅周辺整備事業について
- ・沼津駅付近鉄道高架事業について
- ・沼津高架PIプロジェクトの取組みについて

車座談議で伺った意見／東駿河湾まちづくり研究会

《鉄道高架事業に対する意見》

- ・総合計画の推進のために高架事業があるが、高架事業がボトルネックで計画は止まってしまう。
- ・事業費の800億円は国、県、市で負担するので、すべてが市の負担ではないが、一般の人はそのことを知らない。
- ・鉄道高架イコール活性化ではない。ハードができてソフトがないと良いまちにならない。
- ・今のスピード感では遅すぎる。このままでは商店街は10年もたない。スピードアップが必要。

《PIプロジェクトに対する意見》

- ・PIをやって更に時間をかけるのか。全員一致はありえない。今までのことを無にせずに進めてほしい。
- ・PIで掲げている結論のイメージができない。
- ・PIは貨物駅移転、原地区のまちづくりが対象だと考えていた。
- ・県民の代表である政治家が、最終的には判断するしかないと思う。

車座談議／東駿河湾まちづくり研究会

高井委員の視察の様子と指摘事項



高井委員からの指摘事項

ファシリテーターの立場について説明がなかったので、説明をしてからファシリテーターに司会進行を任せることについて参加者から同意をとる方がよい。

駅周辺の商店街の方々のご意見を聞くことの必要性を感じた。

車座談議／(社)沼津青年会議所(NJC)



日時:平成24年8月22日(水)

18:30～19:00

参加者:(社)沼津青年会議所

会員 14名

説明内容

- ・沼津駅周辺整備事業について
- ・沼津駅付近鉄道高架事業について
- ・沼津高架PIプロジェクトの取組みについて

車座談議／チェンジ沼津



日時：平成24年9月6日(木)

19:00～21:30

参加者：チェンジ沼津

会員22名

説明内容

- ・沼津駅周辺整備事業について
- ・沼津駅付近鉄道高架事業について
- ・沼津高架PIプロジェクトの取組みについて

広 報 紙

PIプロジェクトニュース 第3号の問いかけ内容

「目標」を明確にするために、地域の将来像を検討する

沼津駅周辺	原地区
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の心配なこと ● 地域づくりで取り組むべきこと ● 将来、避けるべき状況 ● 必要な機能・施設 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の心配なこと ● 地域づくりで取り組むべきこと ● 将来、避けるべき状況 ● 守りたい地域資源 ● どのような地域にしたいか

ステップ2で皆さんにお聴きしたいこと

沼津高架について考えるために、まずどのような地域を目指すのか、地域の将来像を考えてみてください。

沼津駅周辺について

Q1. 今の沼津駅周辺の地域について心配なことは？

沼津駅周辺の課題として、「商店街の活性化」、「まちなかの魅力不足」、「地震や津波などの災害が心配」といった意見がありました。
あなたは、今の沼津駅周辺の地域について、どのようなことが心配ですか？

Q2. 沼津駅周辺の地域づくりで取り組むべきことは？

新東名高速道路の整備によって首都圏からのアクセスがよくなったことから、「今後の地域づくりの可能性として、沼津の持っている観光資源を生かすべき」といった意見がありました。
あなたは、周辺環境の変化を踏まえて、今後、「沼津駅周辺の地域づくり」について、どのようなことに取り組むのがよいと思いますか？



Q3. 将来、避けるべき状況は？

あなたは、今後の「沼津駅周辺の地域づくり」の取り組みに際し、避けるべき状況とは、どのようなことだと思いますか？

Q4. 沼津駅周辺に必要な機能・施設は？

沼津駅周辺は、「観光や医療などをテーマとした都市拠点として整備すべきである」、「徒歩や自転車で行き来しやすく、魅力的な商業地や公園・水辺などの憩いの場があるとよい」といった意見がありました。

あなたは、都市拠点として沼津駅周辺を考えたとき、どのような機能や施設があるとよいと思いますか？

原地区について



Q1. 今の原地区の地域について心配なことは？

原地区は、「水害や地震・津波の被害が懸念される」、「農業の後継者不足や、産業・雇用が少ない」といった意見がありました。
あなたは、今の原地区の地域について、どのようなことが心配ですか？

Q2. 原地区の地域づくりで取り組むべきことは？

原地区では、新東名高速道路の開通に続き、骨格的な道路整備（東駿河湾環状道路の西部区間延伸、スマートインター設置など）が検討されており、「周辺状況が大きく変化するのではないかと」、「原地区でも活性化のためにこれらを活用してはどうか」といった意見がありました。
あなたは、周辺環境の変化を踏まえて、今後、「原地区の地域づくり」について、どのようなことに取り組むのがよいと思いますか？

Q3. 将来、避けるべき状況は？

あなたは、今後の「原地区の地域づくり」の取り組みに際し、避けるべき状況とは、どのようなことだと思いますか？

Q4. 原地区の守りたい地域資源は？

「原に残る歴史的な資源や、昔からの風景を一度壊してしまったり取り返せないし、現状では活かされていない」といった意見がありました。
あなたは、原地区において、残すべき資源、守りたい資源として、どのようなものがあると思いますか？

Q5. 原地区をどのような地域にしたい？

これまで、原地区では、「地域づくりの総合的なビジョンを話し合う機会が十分でなかった」といった意見がありました。原地区の歴史、風景、文化を活用した地域づくりを望む意見は、多くの人に共通しています。
今後の地域の将来像として、「交通の要衝としてのメリットを生かし、医療や健康などの新たな産業のあるまちにしたい」、「現在ある農地や自然を保全していきたい」といった意見がありました。
あなたは、原地区をどのような地域にしていきたいと思いますか？

オープンハウス

オープンハウスの実施状況

Step2-①（平成24年4月）

Step2-②（平成24年6月）

Step2-③（平成24年8月）

場所 イシバシプラザ 1階 セントラルコート

日時 平成24年8月24日(金)～26日(日)

午前10時00分 ～ 午後8時00分

※ 26日(日)のみ午後7時00分 終了

オープンハウスの実施状況

目的

- PI実施計画の周知
- 地域を取り巻く情勢や周辺状況についての確認
 - ⇒ テーマ① 広域レベル
 - ・ 沼津市の財政状況
 - ・ 市の既存計画
 - ・ 地域を取り巻く情勢
- **地域の将来像についての意見聴取**
 - ⇒ 沼津駅周辺、原地区の将来像について

オープンハウスの実施状況

《実施場所》



オープンハウスの実施状況

《 掲出パネル:PI実施計画 》

沼津高架PIプロジェクトとは

沼津高架PIプロジェクトでは、鉄道高架化や駅周辺開発、貨物駅移転など様々な論点について、市民の皆さんと徹底したコミュニケーションを図りながらオープンに議論します。

【背景】

- 状況の変化
 - ・少子高齢化、悪化低産
 - ・東日本震災の発生
- 市民等との対話やニーズ把握の不足
- 行政の進め方に関する不信や不満

【取組み】

- 考え得る案を手断なく検討
 - ・鉄道高架化
 - ・駅周辺開発
 - ・貨物駅移転
- 市民等との対話を通じ、オープンに議論
- 透明で公正な進め方

【成果】

- 沼津駅付近鉄道高架事業等の方向付け
- 市民ニーズの把握、反映
- 進捗の確保

意思決定

沼津高架PIプロジェクト

沼津高架PIプロジェクト・PI実施計画

平成24年4月6日、PI実施計画を策定しました。
まずは目指すべき目標を明確にし、一つ一つ確認しながら進めていきます。

●沼津高架PIプロジェクトのプロセス

H23		H24			
Step 1 PI実施計画の策定	Step 2 目標の設定	Step 3 代替案取組点ごとと評価項目の設定	Step 4 代替案(パッケージ)と評価項目の設定	Step 5 代替案の比較評価	Step 6 代替案の選定
PI実施計画を策定しました。	鉄道高架や貨物駅移転、さらには沼津全体や移転先地区の現在の問題や将来像を検討し、プロジェクトの目標を定めます。	目指すべき目標を達成するための複数の代替案を予断なく検討し、比較評価の視点を設定します。 まずは論点となるテーマごとに代替案を検討し、次にそれらを組み合わせ、相互に関連づけた代替案を検討します。		代替案を比較評価します。	意思決定にあたり推奨する案を策定するとともにその前向きを整理します。

沼津高架PIプロジェクト

PI実施計画 [Step 2 目標の設定]

鉄道高架や貨物駅移転、さらには沼津全体や移転先地区の現在の問題や将来像を検討し、プロジェクトの目標を定めます。

テーマ① 広域レベル	●鉄道高架事業の効果や影響について議論し、計画の意義を確認します。 ※沼津市や東東部地域への効果や財政面への影響など	目標の設定
テーマ② 地区レベル (沼津駅周辺)	●沼津駅周辺地区におけるこれまでの計画などを確認します。 ●これまでの計画への懸念、期待を整理します。	
テーマ③ 地区レベル (原地区)	●原地区の良いところや課題を確認します。 ●これまでの計画への懸念、期待を整理します。	

沼津高架PIプロジェクト

オープンハウスの実施状況

《テーマ①広域レベル：沼津市の財政状況》



沼津市の財政状況

オープンハウスの実施状況

《テーマ①広域レベル:市の既存計画》

第4次沼津市総合計画 2011-2020

「人と環境を大切に作る県東部広域拠点都市」



中央地域(第一・第五)

地域の特性

本地域には、J日沼津駅周辺の大型商業施設をはじめ、駅周辺に12もの商店街が立地するとともに、多くの企業の本拠地や支店・県庁の公共機関があり、商業地域を担う商業や業務機能などの集積地となっています。



また、駅には小中学校や高等学校が集積する文教地帯を形成するとともに、西部には工場などが集積する工業地域、西部には、狩野川を流した川沿いにある水辺空間があるなど、多様な「お宝」を有しており、人・もの・情報の交流拠点として、本市のみならず、県東部地域の中心地としての役割を担っています。

市内の定住人口の減少が緩やか、マンションの増加に伴い、人口増加が見られる沼津駅周辺においては、今後の本市及び県東部地域の発展を担える、東部コンベンションセンターの建設や土地活用整備事業などにより、さらにグレードの高いまちづくりが進められています。

まちづくりの方向
人が集まり、人が育つ、商業地の「お宝」となるまち

- ・都市機能に集積しながら、さらに高度な都市機能の集積や土地利用の高度化、商店街の活性化などに努め、多様な人々が集う商業地域の「お宝」にさらさらしいまちづくりを進めます。
- ・本市のみならず、県東部地域の拠点地域として、様々な都市機能が集積する利便性の高さを活かしながら、安全・安心・暮らし、快適に暮らすことのできる高い居住環境の創出に努めます。
- ・商業・業務地域、文教施設、工業地域など、それぞれの地域の特性に定住まちづくりをはじめ、沼津駅周辺と沼津湾の連携など、狩野川を中心としたにぎわいと憩いの場の創出などに努め、多様な人、訪れる人など、誰にとっても便利で賑わえるまちづくりを進めます。

西部地域(原・浮島・愛鷹)

地域の特性

本地域は、愛鷹山脈や浮島岳、宇布志原などの豊かな自然と、この豊かな自然が基盤となつた自然環境に恵まれるとともに、北条早雲の築城の地として高い歴史や文化や自然環境の宝庫と見られる。また、豊富な自然文化財の宝庫と見られる。また、愛鷹山脈に大企業が立地するとともに、地域内には、商業地域の中心地である市立病院をはじめ、教育施設の増加・技術向上や市民への応答サービスの普及等を促す教育・ワークスペースが設置されている。



また、愛鷹山脈に大企業が立地するとともに、地域内には、商業地域の中心地である市立病院をはじめ、教育施設の増加・技術向上や市民への応答サービスの普及等を促す教育・ワークスペースが設置されている。

沼津地区においては、東海道東部連絡(新東)沼津サービスエリアの設置が予定されており、沼津商業と結びついた、地域振興の新たな拠点として期待されています。

しかしながら、愛鷹山脈などでは、この不況の影響が顕著に現れていること、河川氾濫などの自然災害、洪水しやすい地理的条件に加え、水辺の利便や備品などから、集中豪雨等による浸水被害が発生していることが課題となっています。

まちづくりの方向
安全・安心を実感し、自然と歴史の豊かを感じる快適なまち

- ・豊かな自然や歴史・文化資源の保全と活用を図り、特色ある景観を持つ、自然と歴史を感じてもらえるまちづくりを進めます。
- ・治水対策や災害危険箇所対策の整備を推進するとともに、この中長期的な方向性、安全・安心を担保できる、住みやすいまちづくりを進めます。
- ・まちや街並みをはじめとする、第一次産業の振興を図ります。
- ・(国)沼津サービスエリアの活用や周辺部の整備など、地域のにぎわいづくりを進めます。

沼津高架PIプロジェクト

「人と環境を大切に作る県東部広域拠点都市・沼津」

第4次沼津市総合計画 前期推進計画(平成23年度～平成27年度)



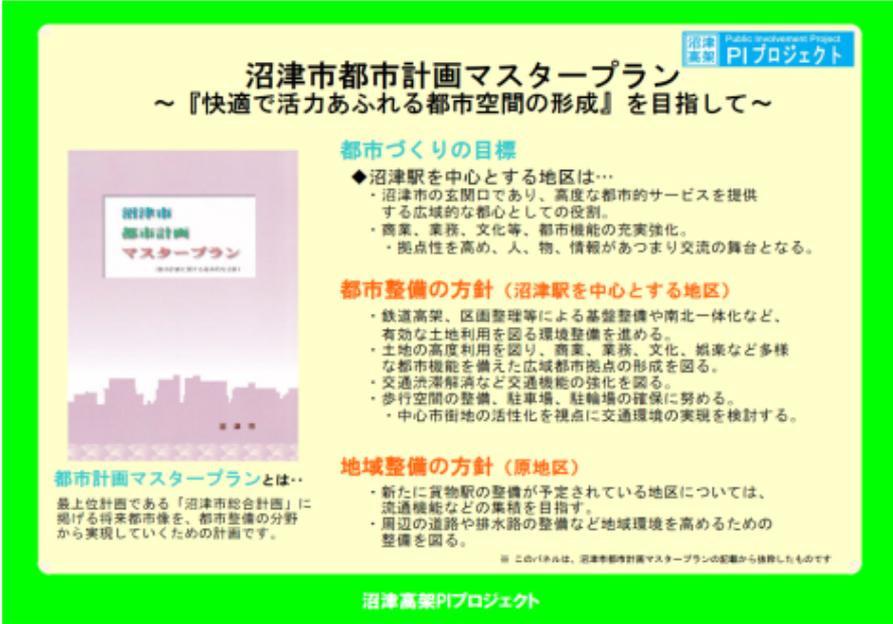
まちづくりの方針		重点推進事業
1 環境にやさしく、安全・安心を実感できるまち	環境にやさしいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・めまづエコ活動推進事業 ・めまづの森整備事業 ・中間船埋施設整備事業 ・水道施設耐震化事業 ・水道施設更新事業 ・地震津波対策緊急点検・整備事業 ・公共施設地震津波対策事業
	安全・安心で快適に暮らせるまち	
2 元気でいきいきと暮らせるまち	あたたかさに満ちた親切なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センター整備事業 ・戸田地域活性化センター整備事業 ・こども医療助成制度 ・地域子育て支援事業 ・教育基盤整備事業(小中一貫校整備) ・スポーツ施設整備計画推進事業
	夢ある人を育てるまち	
	生涯いきいき暮らせるまち	
3 魅力と活力にあふれ、にぎわいに満ちたまち	心のかよう支え合いのまち	<ul style="list-style-type: none"> ・物産振興推進事業 ・海の魅力発信事業 ・沼津駅南土地区画整理事業 ・静岡東部拠点土地区画整理事業 ・駅北地区開発事業 ・鉄道高架事業(施設整備事業、新貨物駅基盤整備事業、新車両基地基盤整備事業) ・商業まちづくり推進事業 ・企業立地促進事業
	魅力のあるにぎわいのまち	
	活力あふれるまち	
静岡県東部地域を牽引するまち		

沼津高架PIプロジェクト

沼津市総合計画

オープンハウスの実施状況

《テーマ①広域レベル:市の既存計画》



沼津市都市計画マスタープラン
～『快適で活力あふれる都市空間の形成』を目指して～

Public Involvement Project
PIプロジェクト

都市づくりの目標

- ◆沼津駅を中心とする地区は…
 - ・沼津市の玄関口であり、高度な都市的サービスを提供する広域的な都心としての役割。
 - ・商業、業務、文化等、都市機能の充実強化。
 - ・拠点性を高め、人、物、情報があつまり交流の舞台となる。

都市整備の方針（沼津駅を中心とする地区）

- ・鉄道高架、区画整理等による基盤整備や南北一体化など、有効な土地利用を図る環境整備を進める。
- ・土地の高度利用を図り、商業、業務、文化、娯楽など多様な都市機能を備えた広域都市拠点の形成を図る。
- ・交通渋滞解消など交通機能の強化を図る。
- ・歩行空間の整備、駐車場、駐輪場の確保に努める。
- ・中心市街地の活性化を視点に交通環境の実現を検討する。

地域整備の方針（原地区）

- ・新たに貨物駅の整備が予定されている地区については、流通機能などの集積を目指す。
- ・周辺の道路や排水路の整備など地域環境を高めるための整備を図る。

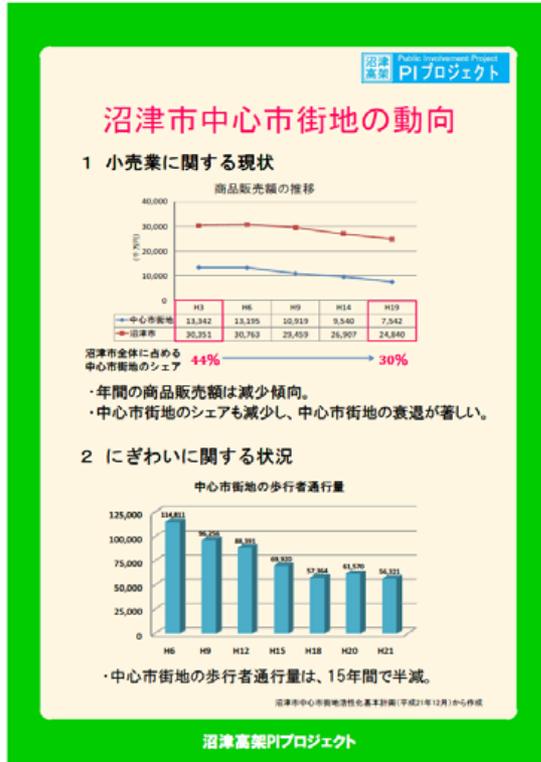
都市計画マスタープランとは…
最上位計画である「沼津市総合計画」に掲げる将来都市像を、都市整備の分野から実現していくための計画です。

沼津高架PIプロジェクト

沼津市都市計画マスタープラン

オープンハウスの実施状況

《テーマ①広域レベル: 地域を取り巻く情勢》



中心市街地の動向



3つのガードの状況



津波ハザードマップ

オープンハウスの実施状況

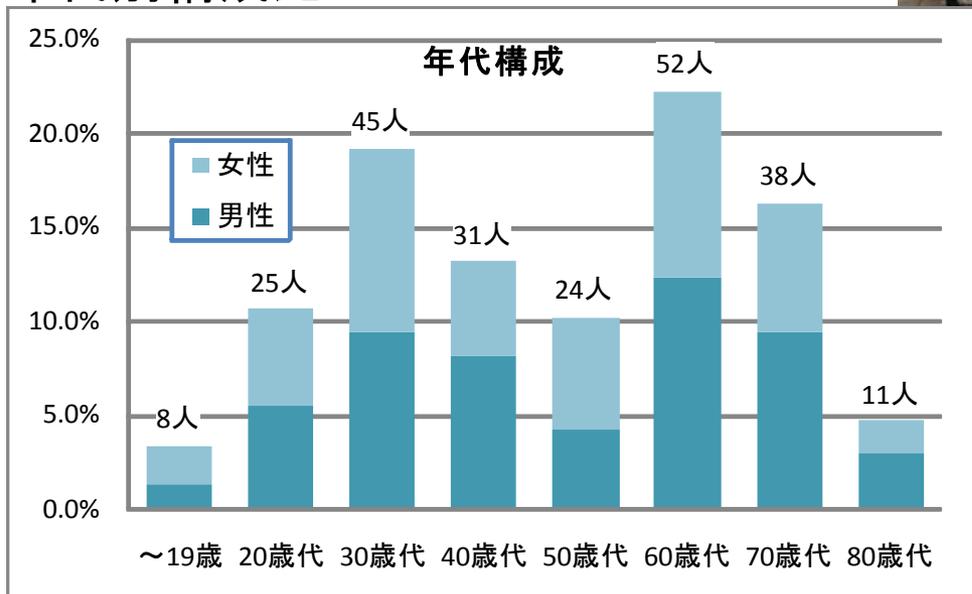
《聴き取り調査》

沼津駅周辺及び原地区の「地域の将来像」について

沼津駅周辺	原地区
<ul style="list-style-type: none">• 地域の心配なこと• 地域づくりで取り組むべきこと• 将来、避けるべき状況• 必要な機能・施設	<ul style="list-style-type: none">• 地域の心配なこと• 地域づくりで取り組むべきこと• 将来、避けるべき状況• 守りたい地域資源• どのような地域にしたいか

オープンハウスの実施結果

1. 実施時間 29時間
2. 聴き取り調査人数 234人
 - (1) 開催日別 24日(金):55人
25日(土):75人
26日(日):104人
 - (2) 男女別 男性:125人、女性:109人
 - (3) 年代別構成比



オープンハウスの実施状況



皆さんからのご意見

沼津駅周辺の将来像について ~皆さんからこのような意見がありました~

Public Involvement Project
PIプロジェクト

今の沼津駅周辺の地域について心配なことは？

- 立ち退きの問題
- まちが荒廃しないように
- 人口減少
- まちの南北分断
- 地盤・津波
- ガードの設置
- まちの再開発

沼津駅周辺の地域づくりで取り組むべきことは？

- 大規模な再開発
- 沼津港の整備
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発

将来、避けるべき状況は？

- 人口流出
- まちの荒廃
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発

沼津駅周辺に必要な機能・施設は？

- 駅前広場
- 駅前ビル
- 駅前広場
- 駅前ビル
- 駅前広場
- 駅前ビル
- 駅前広場
- 駅前ビル

沼津高架PIプロジェクト

沼津駅周辺

原地区の将来像について ~皆さんからこのような意見がありました~

Public Involvement Project
PIプロジェクト

今の原地区の地域について心配なことは？

- まちの荒廃
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断

将来、避けるべき状況は？

- まちの荒廃
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断

原地区の守りたい地域資源は？

- 浮島公園
- 宿場町
- 白地
- 景観

原地区の地域づくりで取り組むべきことは？

- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断

原地区をどのような地域にしたい？

- 住みやすい地域
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発
- まちの南北分断
- まちの再開発

沼津高架PIプロジェクト

原地区

皆さんからのご意見(沼津駅周辺)

地域について心配なこと	<ul style="list-style-type: none">• まちに活気がなく、寂れてしまっていること• 人通りが少ない。特に若い人がいない• まちが南北に分断されている• 西武の撤退と、撤退後の跡地利用• 地震、津波
地域づくりで取り組むべきこと	<ul style="list-style-type: none">• 子供や高齢者にやさしく、安心して暮らせるまちづくり• 歩行者を中心としたまちづくり• 若者が集まるまちづくり• 地域を活性化させる施策
将来、避けるべき状況	<ul style="list-style-type: none">• まちの衰退• 市の財政悪化や財政破綻• 周辺市町への人口流出
必要な機能・施設	<ul style="list-style-type: none">• 無料駐車場、駐輪場• 公園、憩いの空間• 多目的広場• 子供が遊べる施設

皆さんからのご意見（原地区）

地域について心配なこと	<ul style="list-style-type: none">• 地震、津波• 水害
地域づくりで取り組むべきこと	<ul style="list-style-type: none">• 津波や治水対策• 南北道路の整備• 地域の活性化
将来、避けるべき状況	<ul style="list-style-type: none">• まちに人がいなくなってしまうこと• 南北の避難路がない状況
守りたい地域資源	<ul style="list-style-type: none">• 宿場町• 浮島沼• 景観
どのような地域にしたい？	<ul style="list-style-type: none">• 安心できる地域• 住みやすい地域• 浮島沼の自然を生かした地域

企業ヒアリングの状況

企業ヒアリングの実施状況

■実施回数: 4回(7/14~9/9)

■実施事業者: 通運事業者2社、港湾事業者1社、バス事業者1社

日時	団体名
8月10日(金) 10:00~10:55	通運事業者A
8月20日(月) 10:00~11:15	通運事業者B
8月30日(木) 13:30~14:15	港湾事業者C
9月3日(月) 14:00~15:15	バス事業者D

■通運事業者に対する主なヒアリング内容

- ・沼津駅付近鉄道高架事業及び沼津高架PIプロジェクトに対する考え方
- ・沼津貨物駅が廃止、あるいは富士地区などに移転した場合の影響

■港湾事業者に対する主なヒアリング内容

- ・沼津駅付近鉄道高架事業及び沼津高架PIプロジェクトに対する考え方
- ・港湾関係者として、沼津港の賑わいと中心市街地の衰退を、どのように見ているか

■バス事業者に対する主なヒアリング内容

- ・沼津駅付近鉄道高架事業及び沼津高架PIプロジェクトに対する考え方
- ・沼津市内で事業展開する上での課題と、その解決に向けて望むこと

企業ヒアリングの状況／通運事業者 A・B

■ 沼津駅付近鉄道高架事業及び沼津高架PIプロジェクトに対する考え方

- ・原地区への貨物駅移転は、トラック輸送の距離が延びて場合によりコストアップになるが、県の方針であり、JR貨物も協力しているので、当社でも協力する立場である。
- ・鉄道高架事業や区画整理事業の先行きがわからないので、設備投資や修繕の計画が立てにくい。

■ 集配エリア・取扱い品目

- ・沼津三島、裾野、御殿場小山、伊豆全域。
- ・工業製品、原材料、飲料や食品、牛乳や青果物など。

企業ヒアリングの状況／通運事業者 A・B

■ 貨物輸送のメリット

- ・長距離輸送のコストが安い。北海道や九州など長距離輸送の運賃は、トラック輸送に比べてかなり安価である。CO2排出量もトラックの1/6程度で済むため環境にやさしい。
- ・トラック輸送では難しい重量物や長尺物も運んでいる。

■ 沼津貨物駅が廃止、あるいは富士地区などに移転した場合の影響

- ・トラック輸送の距離が延びてコストアップになる。CO2排出量も増える。
- ・取引をやめる顧客も出てくると思う。
- ・東部・伊豆地区での通運事業の営業が非常に難しくなると思う。

企業ヒアリングの状況／港湾事業者 C

■ 沼津駅付近鉄道高架事業に対する考え方

- ・直接的には影響ないと思うが、高架化による南北市街地の一体化や踏切除却により、鉄道、船舶、トラックを含めた物流全体には良い影響があると思う。

■ 取扱貨物(金属くず・化学薬品等)輸送時の3ガードの使用

- ・駅北地区でストックしている金属くずなどの輸送にガードを利用しているが、高さ制限があったり、線形が悪かったりで、ガードの走行には苦労している。

■ 港湾関係者として、沼津港の賑わいと中心市街地の衰退を、どのように見ているか

- ・駅周辺に魅力があれば黙っていても人は集まる。港への観光客のうち、8割は首都圏から車でやって来る。そのほとんどはリピーターである。リピーターがいないと観光業は持続しない。

その他活動及び意見状況

第7回 沼津駅周辺親子見学ツアー



日時:平成24年8月21日(火)

9:00～12:00

主催:沼津市

参加者:沼津市に住む

親子6家族(18名)

見学施設

- ①BiVi沼津
- ②プラサ ヴェルデ建設予定地
- ③JR沼津貨物駅
- ④沼津駅周辺総合整備事業

及び鉄道高架事業の説明

パネル展示の実施状況

場所 静岡県東部地域交流プラザ(パレット)
アイル(3階通路)

日時 平成24年9月4日(火)～23日(日)
午前10時00分 ～ 午後5時00分

内容

- PI実施計画の周知
- 地域を取り巻く情勢や周辺状況についての確認
 - ⇒テーマ①広域レベル: 沼津市の財政状況
 - ⇒テーマ②、③地区レベル: 市の既存計画、地域を取り巻く情勢
- **地域の将来像についての意見の紹介**
 - ⇒イシバシプラザにて聴き取りした意見の一部を紹介

パネル展示の実施状況

《実施場所》



静岡県東部地域交流プラザ(パレット)

パネル展示の実施状況



これまでのステップ2 P I 活動実績

オープンハウス

開催日数: 14日(95時間)
開催場所: 7箇所
聴取り票回収数: 755人

車座談議

開催回数: 20回(27時間10分)
開催団体: 18団体
延べ参加人数: 156名

企業ヒアリング

開催回数: 6社
JR東海、JR貨物、
通運事業者2社、港湾事業者1社
バス事業者1社

その他意見

意見数: 17件
(メール6件、HP2件、手紙6件、
電話2件、県民の声1件)

ステップ2の進捗状況と今後の見込み

ステップ2 P I 活動見込み

○車座談議

【状況】

- ・ 3 団体に実施
- ・ 4 団体に対して投げかけ 回答待ち

【対応】

- ・ 開催の呼びかけの継続
- ・ 開催した団体については継続開催

車座談議等の記録方法について

1 メディア対応

- ・ 撮影は、頭撮りのみ

2 記録方法

- ・ 映像や音声等による記録を行う

【記録の用途】

- ・ 正確な議事概要等の作成
- ・ P I 委員の評価
- ・ 話し合いの進め方や内容を分析し、今後の P I 活動へ活用

ステップ2 P I 活動見込み

○広報紙

【状況】

- ・8/22第3号発行(発行の遅れ)

【対応】

- ・計画的な作成(次号、次々号の掲載内容を予め設定)

○企業ヒアリング

【状況】

- ・通運事業者2社、港湾事業者1社、交通事業者1社

【今後の予定】

- ・商業者(駅前大規模店舗)調整中
- ・交通事業者(タクシー協会など)調整中

○勉強会

車座談議を通じて呼びかけ